

## 外用薬の剤形変更を提案した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、外用薬の剤形変更を提案することで、アドヒアランスおよび治療効果の向上に寄与したプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

▶原疾患に対する治療目的で入院された患者

【使用中の薬剤（一部抜粋）】

- ・アクアチムクリーム 1%  
頭部 塗布 （ざ瘡様皮疹に使用されていた）



Hさん

### 薬剤管理指導目的で訪室

Hさん、何かお薬のことで困っていることはないですか。

頭の皮疹に塗り薬（アクアチムクリーム）を以前出してもらって、使っているのですが、髪に付いてしまって使いづらいです。

そうでしたか。アクアチムクリームですが、ローションタイプで同じお薬があります。頭皮にも塗りやすいと思いますので、変更してみてもいいかがでしょうか。

そうなんです、ローションタイプがあるなら、変更してほしいです。

分かりました。それでは、担当医に処方してもらえるか相談しておきますね。



Hさん



薬剤師

その後、担当医にアクアチムローション 1%の処方を提案し、提案通り処方された。アクアチムローションに変更後、使用感に問題なく、頭部のざ瘡様皮疹も改善した。

外用薬の剤形変更を提案することで、アドヒアランスおよび治療効果の向上に寄与できた。